

患者さんへ

当院脳神経外科における臨床研究での患者さんの診療記録の利用について

当院では、脳動脈瘤や頸動脈狭窄などに対する脳血管内治療の長期成績を明らかにすることを目的に、複数の施設で共同して「脳血管内治療の長期成績に関する多施設共同登録研究」を行っています。この研究は、京都大学脳神経外科がとりまとめ役となり、約5つの施設が参加しています。

当院では、この研究のために、当院で2001年4月1日から2015年12月31日の間に脳血管内治療が行われた患者さんの病状記録を提供します。

また、対象となる患者さんの現在の状態を把握するために電話インタビューやアンケート調査を行う場合があります。インタビューやアンケート調査に対するご協力は任意です。

病院スタッフは、医療従事者としての守秘義務が課せられており、患者さんの個人情報には固く守られています。また、患者さんの医療データを提供しますが、その際には患者さん個人を特定できる氏名・住所・電話番号などの情報は記載しません。同様に、医学雑誌などに発表する場合も個人が特定できないように配慮されます。

ご提供いただいた医療データは厳密に保管され、研究終了の5年後に破棄されます。

本研究で収集された情報は、将来実施される複数の研究に利用される可能性があります。この場合には研究内容が具体的にになった時点で、当院の臨床研究倫理委員会に申請し承認された後に改めて情報公開文書等でお知らせいたします。

なお、現時点で解析項目となっているのは下記のとおりです。

大型・巨大未破裂脳動脈瘤コイル塞栓術後の早期破裂の実態調査

未破裂脳動脈瘤に対するコイル塞栓術の長期成績（10年以上）

頸部放射線照射後内頸動脈狭窄に対するステント留置術の実態と成績

抗凝固療法施行中の患者に対する頸動脈ステント留置術の実態と成績

この研究への医療データ等の提供をご辞退される場合、また研究の内容についてより詳細な情報を希望される場合やご質問などがある場合には、下記の担当医師までお申し出ください。

医療データ等の提供をご辞退された場合は、連絡を受けた時点でご提供いただいた医療データを破棄させていただきます。また、ご辞退されたことにより患者さんが治療上の不利益を被ることは一切ありません。

【当院における問い合わせ先・研究責任者】

脳神経外科 部長 坂井信幸